



# ふねあいのひろば

第25号



「岡山少年少女合唱団ブルガリア・トルコ親善公演」より



## ごあいさつ

会長 野津 喬

会員の皆様におかれましては、平素より当協議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、岡山市の政令指定都市への移行を記念し、5月には富川市へ「岡山市民友好親善訪韓団」を派遣したほか、7月には「国際サマーホームステイ」に参加した国際友好交流都市等の子どもと本市の中学生による「子どもたちでつくる国際ジュニアフォーラム」を開催しました。

また、8月には新竹市において「岡山とれたて果物フェア in 新竹 2009」を開催し、岡山の果物や特産品を紹介するとともに、2009年が日本・ドナウ交流年に当たったことから「岡山少年少女合唱団ブルガリア・トルコ親善公演訪問団」を派遣しました。

このほか、多文化共生のまちづくりを推進するため、「岡山市多文化共生ネットワーク会議」の設置や「岡山市多文化共生推進コーディネーター」の募集・登録などを行いました。

今年は、経済市場として期待が高まっている香港、台湾において岡山市のシティセールスを行い、海外に向けて岡山の魅力を情報発信し、観光客誘致や市場開拓等につなげていくといった経済分野での交流の推進や、さまざまな海外都市の文化の紹介など文化面を中心とした交流なども予定されております。さらに、来年は、岡山市と洛陽市が友好都市締結30周年という節目の年に当たることから、記念事業の検討なども予定されています。

当協議会としては、岡山市と連携を図りながら、民間交流の推進といった視点で、引き続き国際友好交流都市をはじめ様々な都市等との国際交流や外国人市民も暮らしやすい多文化共生社会のまちづくりに取り組んでいく所存でございます。

今後とも、会員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ●●● 目 次 ●●●

プロブディフ市との交流	1
・岡山少年少女合唱団ブルガリア・トルコ親善公演訪問団	1
洛陽市との交流	2
・岡山市友好訪中団	2
・技術研修生相互派遣	2
富川市との交流	3
・岡山市民友好親善訪韓団	3
・富川市民友好親善訪問団来岡	3
新竹市との交流	4
・岡山とれたて果物フェアin新竹2009	4
・「おかやま国際音楽祭2009」に参加	4

国際サマーホームステイin OKAYAMA2009	5
富川市・新竹市・	
ペンドルトンウマティラインディアン居留区部族連合	
多文化共生のまちづくり	7
多言語生活相談窓口の増設・日本文化紹介講座他	7
友好交流サロン	8
・日本語教室・各種外国語会話教室	8
・外国人向け情報紙「あくら」の発行	9
・国際交流ふれあい講演会	9
ボランティア活躍記	10
ふれあいトピックス	11
ホットミニ情報	11

# プロブディフ市との交流

## ◎岡山少年少女合唱団ブルガリア・トルコ親善公演訪問団 (平成21年8月22日～8月29日)

姉妹都市のプロブディフ市からの招へい等により、岡山少年少女合唱団ブルガリア・トルコ親善公演訪問団総勢25名はプロブディフ市を訪問し、地元合唱団「スラベナ」とジョイント・コンサートを開催し、「さくらさくら」「浜辺の歌」など日本のわらべうたを披露したほか、ブルガリアの歌「STRYAHA」をブルガリア語で現地の子どもたちと合唱しました。



スラベナの出し物



市庁舎前での集合写真



副市長表敬 (中央が副市長)



スラベナとの合唱

# 洛陽市との交流

## ◎岡山市友好訪中団 (平成21年10月15日～19日)

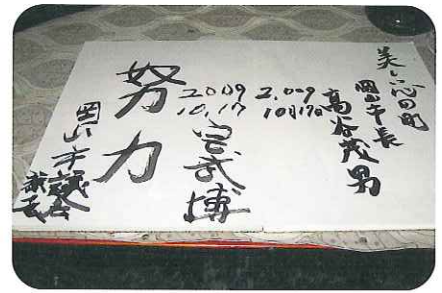
高谷茂男岡山市長、宮武博岡山市議会議長らによる岡山市友好訪中団総勢7名は、洛陽市を訪問し友好交流を深めるとともに、本市の政令指定都市移行後の交流拡大のあり方について協議し、帰国しました。洛陽市滞在中、郭洪昌洛陽市長、連維良中国共産党洛陽市委員会書記等との会談では、今後経済・芸術・文化・環境技術などの分野に交流拡大を図ること、また、医療や福祉・介護などの分野での交流を推進していきたいことを確認しました。このほか、来年4月に友好交流締結30周年を迎えることから、市民訪問団の相互派遣などで節目の年をともに祝い合う記念事業を展開していくことなどが話し合われました。



連維良書記(右)と会談



郭洪昌市長(右)と会談



洛陽博物館にて  
高谷市長・宮武議長による題辞

### 第15回岡山市技術研修生派遣

藤本 香菜

研修期間：平成21年4月23日～22年3月31日

研修分野：中国語・中国茶芸（洛陽理工学院）

洛陽で生活を始めて8ヶ月、毎日を楽しく過ごしています。洛陽では中国語や文学等だけではなく、中国茶についても学んでいます。中国茶の授業は難しいですが、内容が濃く、とても学び甲斐があります。



茶芸の先生と(右が藤本さん)

洛陽に来てすぐ、「茶縁」という言葉を知りました。読んで字の如く、茶によって縁が繋がるという意味です。私も縁あって評茶、茶芸の先生をはじめ、お茶市場の先生、洛陽の書道家や画家の方々と知り合え、また中国茶に興味を持つ友人とは更に仲を深めることが出来ました。私にとって中国茶はただ学ぶだけのものではなく、欠かせないコミュニケーション方法の一つです。

宋から茶を持ち帰ったのは宋西禅師でした。遥か昔に岡山に生まれた人が宋から茶を持ち帰り喫茶の習慣を広め、時が流れ私が洛陽で茶を習う。これも一つの「茶縁」であると思えてなりません。そして、縁は新たな縁を呼びます。これからも縁が途切れぬ様、大切にしていきたいです。これも一つの岡山洛陽友好の形だと考えており、それが岡山と洛陽の皆様に出来る恩返しだと思います。

### 第18回洛陽市技術研修生受入れ

李 平 (洛陽理工学院教授)

研修期間：平成21年10月1日から1年間

研修分野：生産設備のリスクマネジメント（岡山大学）

岡山に来て、もう5ヶ月になりました。多くの方にお世話をしていただいて、いろいろな経験をして、ずいぶん楽しんでいます。



高谷市長を表敬訪問した際、高谷市長は優しい応援の言葉をくださいました。それに、岡山市国際課の皆さんからは、生活用品を買ったり、研究室や日本語教室などを紹介したり、いろいろな社会活動と一緒に参加していただきました。わたしは岡山大学での全学日本語コース(中級)に参加しています。また、学校授業の合間に、西川日本語教室と岡輝日本語教室で授業を受けています。日本語の勉強は非常に大変ですが、面白いです。私が通っている鈴木研究室はシステム工学に関する人材育成と研究を行っていて、毎週、新たな研究成果と卒業論文の進捗を発表して検討するゼミがあります。わたしは外国人研究員として、日本語で自分の研究分野や洛陽市の文化と歴史などを紹介しました。また、中国に深い興味をもつ日本の友だちもできました。

熱心でお客好きな岡山の友だち、親切で経験のある先生やきちんとしていてきれいな街などに深い印象を受けています。洛陽市と岡山市の友好交流のおかげで、こんなに面白い体験をさせていただいていることに心から感謝しています。これから、私は今後の勉強と研究をしっかりとるように一生懸命に頑張っていくと決心しています。

※両氏には研修期間中に執筆を依頼しました。

# 富川(プチョン)市との交流

## ◎岡山市民友好親善訪韓団 (平成21年5月1日～5月3日)

富川市との交流は平成14年の友好交流協定締結以来、スポーツ、文化・芸術、教育など様々な分野で繰り広げられました。こうした中、5月1日から3日までの3日間、高谷茂男市長を団長に一般公募の市民参加者をあわせ総勢68名の「岡山市民友好親善訪韓団」が富川市を訪問し、文化・芸術都市富川市を象徴するボクサゴル芸術祭の開幕式に参加するとともに教育交流などの市民交流が行われました。



富川市長を表敬訪問

## ◎富川市民友好親善訪問団来岡 (平成21年8月1日～3日)

洪建杓富川市長を団長に富川市議会、富川市民、呉恩領舞踊団の総勢50名の方々により構成された富川市民友好親善訪問団が来岡されました。岡山滞在中、歓迎レセプションや「おかやま桃太郎まつり」での花火大会の観覧、山陽新聞社本社前で韓国舞踊の公演が行われました。



## 歓迎レセプションの様子



おかやま桃太郎まつりに参加し、華やかな韓国の民族舞踊を披露。



# 新竹市との交流

## 岡山とれたて果物フェア in 新竹2009

(平成21年8月21日～23日)

今回のフェアは、本年4月に両市の特産品の販路拡大のための相互支援について岡山市・新竹市友好都市議員連盟が新竹市との間で締結した協議書に基づき、新竹市内の百貨店において昨年引き続き実施したものです。開催期間中、ぶどう、ジャム、米などが一般消費者向けに販売されたほか、試食宣伝や観光PR活動なども行われました。



新竹市内百貨店でのオープニング



販売及び試食コーナー



現地のマスコミを通じて、積極的にPR

## 新竹市水源小学校の民族音楽部 「おかやま国際音楽祭2009」に参加 平成21年10月3日(土)

岡山駅前でのオープニングイベントや市民会館での「アジアミュージック&パフォーマンス」に出演し、小学生15名からなるメンバーが民族楽器による生演奏を披露しました。



駅前広場にて



市民会館のステージにて



岡山市立吉備小学校の生徒たちと  
音楽を通じて交流

# 国際サマーホームステイ in OKAYAMA 2009



## 〈海外参加者〉

富川市（韓国）9名  
新竹市（台湾）10名  
ペンドルトン・ウマティラインディアン  
居留区部族連合（米国）5名

## プログラム

〈岡山参加者〉 24家庭

## 趣旨

- ホームステイを通じて、岡山市の国際友好交流都市を中心とした子どもたちとの家庭ぐるみでの交流、国際理解の促進を図ります。
- 海外参加者に普段着の日本文化、習慣などを体験してもらいます。
- 岡山の持つ魅力を、子どもたちを通して、海外へ情報発信します。



## 7月27日（月）ウェルカムパーティー



ウェルカム  
パーティーでの様子

友達が増えたよ!

## 7月28日（火）子どもたちでつくる国際ジュニアフォーラム

文化・価値観の多様性に触れる機会を提供し、国際理解を深め、国際感覚を醸成することを目的に、岡山の子どもたちとサマーホームステイに参加している海外の子どもたちが共通のテーマについて、国際会議場（岡山国際交流センター内）の同時通訳機能を利用して互いの学習成果を発表し、意見交換を行いました。

**参加チーム** 岡山：（足守中学校・高島中学校・西大寺中学校・操南中学校）  
海外：（富川市・新竹市・ペンドルトンウマティラインディアン居留区部族連合）

**テーマ** 「あなたが住みたい環境と調和の取れた都市ってどんな都市？」



会場の様子

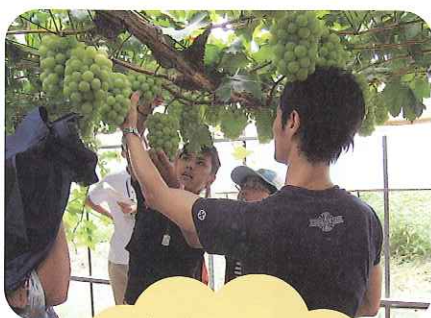


7月29日(水)

マスカットの収穫体験・試食、  
「めだかの学校」で環境学習、まつだ牧場見学



めだかの学校



ぶどうの  
収穫体験



完成品



キーホルダー  
づくりに挑戦

7月30日(木)

犬島自然の家  
シーカヤック・海水浴・バーベキュー

バーベキュー



上手に漕げたよ!

7月31日(金)～8月2日(日) ホームステイ家庭で過ごす

8月1日(土) フェアウェルパーティー

8月3日(月) お別れ



着物が  
似合う?



7月27日のウェルカムパーティーにはじまり、国際ジュニアフォーラムや、マスカット狩り、シーカヤック、そして8月1日のフェアウェルパーティーまで様々な研修プログラムを体験したほか、各家庭でのふれあいを通じて、文化や言葉の壁を越えた友好交流の絆を育みました。

# 多文化共生のまちづくり

## ◎岡山市外国人市民会議(第2期)

平成20年1月から平成22年1月の任期2年にわたり議論を重ねてきた外国人市民会議(第2期)は、オープン会議の開催などを経て、平成22年1月29日に提言書を岡山市長に提出しました。



オープン会議の様子

## ◎外国人のための 多言語相談窓口の増設

現在の経済情勢等により外国人市民からの相談等が増加していることから、10月より、相談員2名を配置し、中・東・南区役所で多言語行政相談、友好交流サロンとさんかく岡山で多言語生活相談を開始しました。対応言語は、英語と中国語となっています。



友好交流サロンの相談窓口にて



## ◎日本文化紹介講座の開催

外国人市民の方々からの、日本の様々な文化を知りたいという声にお応えして、「日本文化紹介講座」を開きました。1月30日に行われた「投扇興」(開いた扇を的に向かって投げる遊び)には、約20名の方に参加いただき、後楽園遊扇会の会長及び会員の指導のもと、楽しい時間を過ごしました。



後楽園遊扇会会長



にぎやかな会場



持ち方の指導



## ◎岡山市多文化共生 推進ネットワーク会議

市内の外国人市民や外国人市民グループを支援している団体とのネットワークの構築や情報交換などを行い、連携して多文化共生社会実現に取り組むことを目的に、2回の会議を開催しました。岡山市における多文化共生社会実現に向けたこれまでの取組の紹介や、外国人市民への情報伝達ルートなどについて、活発な情報交換が行われました。



会議のようす

## ◎岡山市多文化共生 推進コーディネーター

日本人市民と市内に在住する外国人市民が円滑なコミュニケーションを図り、日本社会に溶け込めるよう、言語面での支援をしていただく、岡山市多文化共生推進コーディネーターを募集・登録し、1回目の打ち合わせ会議を開催しました。



打ち合わせの様子



# 友好交流サロン

## 日本語教室

無料の日本語教室を西川教室（木曜日の午前・午後・夜間）・京山公民館教室（毎週土曜日の午前）・岡輝公民館教室（毎週月曜日の午前）の3教室で開催しています。いつでもだれでも気楽に参加できます。ボランティアの先生方は月に一度の研修会、年に1回の講習会を通して、教えるノウハウを切磋しながら、情熱的かつ真剣に授業に取り組んでいます。



授業後、先生たちがいつも意見交換を行います。



毎週木曜日（西川教室）、友好交流サロン全体が教室になります。レベルに応じていくつかのグループにわけて、1日延べ100名以上の人が通っています。



夜間のクラスは留学生の受講生が目立ちます。

## 各種外国語会話教室

各種外国語会話教室では、4言語9つのクラスで、幅広い年齢層の方々が語学に挑戦しています。言葉だけでなく、歌や料理などを通して、文化、風習、歴史など幅広く学びます。講師の先生はカードなど手作りの教材を使ったり、都合で授業に参加できなかった人、または途中から入ってきた人のために授業の前後の時間を使って補習したりと、大変熱心に指導しています。



ハングル(入門)

尹 甲辰 先生



スペイン語(入門・初級)

パレンスエラ・カルカモ・グラディス・エステル 先生



ハングル(初級)

金 良禧 先生



中国語(初級)

周 暢 先生



中国語(入門)

河田 治 先生



シニア英会話(火曜)

ケヴィン・セピレック 先生



シニア英会話(水曜・金曜)

スティーブ・アンソニー・ラングレイ 先生

## 外国人向け情報紙《あくら》の発行



「あくら」は、外国人に岡山を紹介する情報紙です。日本人と外国人のボランティア編集委員が、3ヶ月に1回、英語・中国語・スペイン語・ハングル版を発行しています。足を使って取材し、できるだけ生の岡山の情報を紹介しようと努力しています。



「あくら」は岡山市のホームページからご覧いただくこともできます。 マスカット農家、「全国都市緑化おかやまフェア」などを取材  
[http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/kokusai\\_s00169.html](http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/kokusai_s00169.html)

## 国際交流 ふれあい講演会

平成21年度「国際交流ふれあい講演会」を7回開催しました。10月の講演会は、第5回岡山国際貢献月間の協賛事業として開催しました。各国の講師の先生たちは、それぞれの母国でのバックグラウンドや日本での経験を生かし、ユニークな視点から、母国の文化や生活の様子を紹介したり、日本に対する感想やエピソードなどを日本語で語っています。今後もこの講演会を通して、岡山市民の方がこれまであまり知らなかった外国のことを知り、身近に感じるとともに、外国人市民の方との交流や相互理解を深める機会になればと考えています。



6月 羅 國應さん  
「台湾よろず話－法学生の視点から」



11月 マリース・毛利さん  
「ママはアメリカ人」



9月 金 良禧さん  
「韓国人主婦・日本での奮闘記」



12月 劉 習韻さん  
「中国民族楽器・二胡との出会い」



5月 トーマス・J・アコスタさん  
「パラグアイと南米の特徴  
－最も酸素の多い場所」



10月 アリ・ピンギョルさん  
「世界の文化の中心－トルコ」



2月 ティム・クレミンソンさん  
「イギリス英語の歴史」

## ボランティア活躍記

### 「元気の素をありがとう」

ボランティア日本語教師 こうもと みつこ 河本美津子



左から2番目が河本先生

毎週木曜日の朝10時西川アイプラザの開館と同時に、外で待っていた人達が入ってきて来ます。図書館の利用者に交じて、4階友好交流サロンでの日本語教室に向かう外国人がたくさんいます。「Ohayo-gozaimasu!」笑顔で挨拶を交わし、教室が始まります。

西川日本語教室は朝・昼・夜の3部制で、それぞれ10人前後のボランティア教師が活動しています。生徒は各クラス1～10数人、ひらがなさえ読めない人から上級者まで、国籍も年齢も職業も勉強の目的も様々です。

そんな中で時間と労力と隣人愛を惜しまず、長い間活動されてきた先輩達には頭が下がります。私自身はこのボランティアを始めて9年目になりますが、どんなに忙しくてもこれだけは辞められないと思うようになりました。その理由を考えてみると、誰かの役に立てる喜びや外国人と会話できる楽しさだけではなく、反対に生徒の皆さんに励まされている自分に気づきました。日本人にはない明るさや率直な笑顔、言葉も不自由な外国で暮らすパワーから、元気をいっぱいもらっています。日本語教室の帰り道、「今日も元気の素をありがとう」と感謝しながら家路につきました。



写真の左端がレオ君・右端が筆者・中央が両家族

### 「長年ホームステイを受け入れて」

ホームステイ受入れ家庭 あかぎ としお 赤木 敏雄

私達がホームステイを最初に受け入れたのは1986年です。当時、三原市の私立病院で事務の仕事をしていました。中国から医師や看護師が6ヶ月研修に来ていました。彼らに後樂園の美しさを紹介しようと思い岡山の自宅に泊めました。畳の部屋や床の間も珍しがっていました。以来51人、16ヶ国から受け入れました。宿泊日数はまちまちです。世界に誇れる日本食、ほとんどの人は食べました。刺身、納豆、味噌汁、漬物などにもよく挑戦していました。

昨年9月にフランスから岡山大学に留学したレオ君は日本語をよく話します。聡明でピアノやバイオリンも上手です。6年前、スイスから来たミカエル君とよく似た若者です。大学の寮に入った後、地区の秋祭りに呼びました。子どもダンジリと夜の屋台を楽しみました。年末に両親と弟が来岡したのに驚きました。2週間ほど日本を観光するとの事でした。ピザとおでんは大喜びでした。ホームステイした人の家族が来ることはまれです。

多くの外国人の方々と出会い、刺激を受けます。そして外国旅行を楽しむことができることに感謝しています。

第14回人権フェスティバル（あいフェスティバルコーナー）

～世界各国の文化やふれあいを楽しもう～

岡山ドーム

平成21年12月6日(日)

会場内に、あいフェスティバルコーナーを設けました。外国人市民による、文化紹介や物産品販売が行われたほか、ワールド屋台では、各国自慢の料理が販売され、多くの市民がさまざまな国の文化にふれることができました。ステージでは、民族パフォーマンスが披露されました。



物産品販売と文化紹介



民族パフォーマンスの様子



ワールド屋台

ホットミニ情報

- サンノゼ専門家派遣事業により来岡されたエミー・ファンさんが「図書館におけるテクノロジーの活用について」7日間の研修を終え、4/6に帰国されました。
- オランダフェスティバルに参加するために来岡されたキューケンホフ公園理事長ワルター・ヤンセン氏が岡山市長を表敬訪問しました。(6/26)
- グアムこども親善大使4名がホームステイに参加するために来岡され、岡山市長を表敬訪問しました。(6/26)
- 「中国・洛陽の風景展」-佐藤安男氏と木下勲氏が洛陽市の画家たちと交流を行う中で、洛陽市の風景や人々の営みを描写した水彩画及び写真で紹介した風景画展が行われました。(7/1～7/3 市役所本庁舎1階ホール)
- 在大阪-神戸アメリカ総領事エドワード・ドン氏が岡山市長を表敬訪問しました。(7/10)
- 「プロブディフ写真紹介展」-昭和47年に姉妹都市縁組を締結後、さまざまな形で岡山市と交流を深めてきたブルガリア共和国プロブディフ市の交流のあゆみを写真などで紹介しました。(8/24 市役所本庁舎1階ホール)
- 新竹市の職員林芳芳さんが両市の職員相互派遣事業により来岡され、10/13から12/11までの間、市の福祉関係部署及び福祉施設などの研修を行いました。
- 金永俊駐神戸大韓民国総領事が岡山市長を表敬訪問しました。(12/16)
- 崔天凱中華人民共和国駐日特命全権大使が岡山市長を表敬訪問しました。(12/18)

岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 岡山市役所国際課内

TEL: 086-803-1112 (直通) FAX: 086-225-5408

E-mail: kokusaika@city.okayama.jp

URL: <http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/index.html>

〒700-0903 岡山市北区幸町10-16 西川アイプラザ4階・友好交流サロン内

TEL: 086-234-5882 FAX: 086-234-5878

E-mail: oifa@po1.oninet.ne.jp